



## 位置を検知する RFID テキスタイルを開発

染色整理加工業。無線チップを織り込んだ、RFID テキスタイルを開発した。カーペット、作業着に応用する。靴などにチップの読み取り機をつけることで人の位置を認識することができる。介護、医療分野での事業化を目指す。

### 業況等の動向について

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

染色加工業を主業とする。業況は、やや不調である。中近東への輸出を多く手掛ける。ドル建て取引であり、昨今の円高基調により、苦戦を強いられている。

#### 参入事業の概要

このRFID(Radio Frequency Identification)テキスタイルは、無線チップを織り込んだ、機能付きテキスタイルである。靴などにチップの読み取り機をつけることで、人の位置を確認することができる。例えば、介護施設で、入所者の方がどこにいるのか、病院で立ち入りを制限した場所に、人がいないかなどの把握に役立つ。医療、介護分野での採用を目指す。既存のバーコードからの置き換えを狙う。

#### 異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

本業が落ち込んでおり、それをカバーするため。

このRFIDテキスタイルは、近畿経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業のプロジェクトである。(財)ふくい産業支援センター、福井工業技術センター、(株)メディカルジャパン、東京大学との共同開発である。

#### 参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

成果の上がったことは、産官学の共同開発。さまざまな立場の方からアイデアを頂き、技術協力を得ることができた。また、開発費用の負担を軽減することもできた。

困難なことは、用途開発である。競合するものに、バーコードがある。バーコードからの置き換えメリットを数字で示すことができず、売上が伸びない。営業、マーケティング面で課題を抱える。

#### 参入に際しての投資について

製造設備、開発費用に、10,000 千円投じた。

#### 参入に際して活用した自社技術、ノウハウについて

特許公開番号 2010-243466

無線 ID タグのマッピングデータ作成装置及び方法

特許公開番号 2010-71769

移動体通過検知装置

特許公開番号 2010-66171

位置検知システム及びそれに用いる位置検知用シート体

#### 今後の展望・見通し

RFIDテキスタイルを使ったモデルケースを作りたい。置き換えのメリット、製品寿命など、データ取りをしたい。それが、後々の拡販ツールになるはずである。

#### メリット・デメリット

メリットは前述のとおり。

デメリットは、売れるか、売れないかわからないものに、多額のお金、多大な時間を投じるリスク。

#### 異業種参入時のアドバイス

どういう用途で使えるか、用途を具体的にイメージしながら、開発するべきだと考える。開発と事業化は別ものである。

### 行政の支援について

#### 異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

福井県工業技術センターをはじめとする技術サポート、資金サポート。

#### 異業種参入に際し、行政に対して望む支援

補助金、助成金を利用する際の条件が厳しい。当方の実態と乖離した条件もあり使いにくい。利用することで、かえってそれが事業、人員配置の縛りになる可能性があり、補助金、助成金の申請を断念したこともある。

#### 会社概要

設立：1988年2月(昭和63年)

資本金：7,000万円

従業員数：100名

U R L : <http://up-ut.com/>